

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)				
家庭基礎	2	全日制・普通科・1年	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来(教育図書)				
科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成に努める。						
時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力 の育成に関わる他教科等との 関連
4月 ~ 5月	生活設計	3	① 知識・技能 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 これからの人生で起こりうるライフイベントについて理解している。	ワークシート	オリエンテーション ライフステージについて知る 将来を見通して目標設定と意思決定について考える	グループ内で自分の考えを発表する。	現代社会、政治・経済
			② 思考・判断・表現 これからの自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 自らの目標を想定し、そのために必要なことやリスクについて考えている。 生活設計について自分の考えと相手の考えを比較して意見を言うことができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。 生涯発達の視点で各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 人生の目標達成のために必要なことや考えられるリスクについて自ら調べようとしている。	ワークシート			
青年期と家族	7	① 知識・技能 青年期の5つの自立について理解している。 職業の種類や意義について理解している。 現代の家族の特徴について、家族機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 新聞や書籍、インターネットなどを活用したり、身近な知人へのインタビューをしたりする。	ワークシート 定期考査	青年期とはどのような時期なのかを知る。 職業労働と家事労働の特徴を理解する。 日本の雇用環境を考え、職業観を身に付ける。 男女共同参画社会について考える。 家族・家庭について考える。	グループ内で自分の考えを発表する。	現代社会、政治・経済	
		② 思考・判断・表現 生涯発達の視点から、青年期をどのように過ごすかについて具体的に考え、意見をまとめたり、発表したりすることができる。 ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、意見をまとめることができる。	ワークシート				
		③ 主体的に学習に取り組む態度 家族・家庭と社会との関わりに関心をもち、男女が協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。 さまざまな家族の形や性のあり方について、理解しようとしている。 青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。	ワークシート レポート				
5月 ~ 7月	衣生活	15	① 知識・技能 被服の機能や衣服が健康に与える影響について理解している。 平面構成と立体構成の特徴を理解している。 ライフステージや目的に応じた衣服について理解している。 被服の管理について理解している。	ワークシート 定期考査 被服実習	衣服の機能について理解する。 衣服の素材について理解する。 衣服の表示、衣服の手入れや管理について理解し、日常生活での活用について考える。 衣生活と環境問題について考える。 被服製作をおととして基礎的な技術を身に付ける。	調べたことをまとめ、発表する。 話し合いをする。	地理、化学
			② 思考・判断・表現 衣生活と環境問題について、新聞、インターネットなどを通じて資料を収集し、まとめることができる。	ワークシート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。	ワークシート			
8月 ~ 9月	ホームプロジェクト	8	① 知識・技能 生活の課題を見つけ、その改善方法を考え、調査したり実践したりすることができる。	レポート	生活の課題を見つけ、改善方法を考え、実践する。 実践したことをスライドにまとめて発表する。	スライドにまとめて発表する。	探究活動
			② 思考・判断・表現 実践したことをスライドにまとめて発表する。	レポート 発表			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 実践を振り返り、さらなる学習へとつなげることができる。	レポート 発表			
10月 ~ 11月	食生活	15	① 知識・技能 栄養素の特徴と、それを多く含む食品について理解している。 日常食の調理について、栄養バランスのよい献立作成、調理について理解している。 安全で衛生的な調理方法を理解し、基礎的な技術を身に付けている。 安全性やエネルギーに配慮した食品の購入や保存ができる。	調理実習 定期考査	食事と健康のかかわりや、食事の役割を理解する。 栄養素の種類と特徴、主な食品について理解する。 食事摂取基準を理解し、各栄養素の必要量を満たす献立を考える。 調理の基礎的な技術を身に付け、安全や衛生面に配慮した調理をする。 現代の食生活の問題や課題について理解し、改善方法を具体的に考える。	グループで話し合い、効率的な調理を考える。	保健、化学、生物
			② 思考・判断・表現 食品の表示を理解し、購入時の判断材料とすることができる。 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、献立を考え、作成することができる。 自給率の低下など現在の食生活の問題について深く考えている。	ワークシート 献立作成シート			
			③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に取り組む実践しようとしている。	ワークシート			
12月	保育	6	① 知識・技能 子どもの心身の特徴や発達を理解している。 子どもを取り巻く環境整備と社会全体で子育てを支える必要性を理解している。	ワークシート 定期考査	子どもの心身の発達を理解する。 親の役割や子どもを産み育てることの意義を考える。 社会全体で子育てを支え、環境を整備することの重要性を理解する。	自分の考えをまとめ、発表する。	保健、現代社会
			② 思考・判断・表現 親の役割や子どもを生み育てることの意義について考え、まとめたり、発表したりすることができる。 現代の子どもを取り巻く環境の変化や課題についてまとめることができる。	ワークシート			

		③ 主体的に学習に取り組む態度 保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。 自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。	ワークシート			
1月	消費生活	6	① 知識・技能 さまざまな契約のしくみや、未成年と成年の法律上の違いについて理解している。 消費者問題の原因と被害に遭わないための対策について理解している。 契約や消費者信用、多重債務などの問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。	ワークシート	18歳で成年となることについて自覚をもち、契約について理解する。 消費者トラブルについて理解し、対策を考える。 さまざまな支払方法を知り、自分にあった利用方法を考える。	グループで話し合い、トラブルを防止する方法を考える。
			② 思考・判断・表現 消費者問題について考え、今後の課題と解決方法について発表したり、意見交換したりすることができる。	ワークシート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 自分の意思で契約できる「おとな」としての権利と責任や消費者問題について、自分ごととして捉えようとしている。	ワークシート		
2月	高齢者/共生社会	5	① 知識・技能 高齢者の心身の特徴について理解している。 我が国の高齢化の特徴を知り、高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。	ワークシート	高齢期の心身の特徴を理解する。 高齢者を支える地域の役割を考える。 社会保障制度など高齢者を支える仕組みを知る。	高齢者とのかわりについて話し合う。
			② 思考・判断・表現 高齢化が進む現状や高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善についてインターネットなどを活用して調査したり発表したりすることができる。 祖父母や身近な高齢者から生きがいや健康問題などの現状を聞き取り、まとめたことを発表することができる。 高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。	ワークシート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 様々な人々と協議し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図り、実践しようとしている。	ワークシート		
3月	住生活	5	① 知識・技能 安全で快適な住生活を送るための知識を身に付け、環境にも配慮した住生活について理解している。 住居の平面図を読みとり、住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画を立てること	ワークシート 平面計画シート	住まいの機能について理解する。 平面図を理解し、動線を考えた平面計画を作成する。 災害への備えや家庭内事故の予防方法を考える。	グループで話し合い、防災への意識を高める。
			② 思考・判断・表現 安全で健康的な住まいについて考えることができる。 動線を考えて平面図を作成することができる。	ワークシート 平面計画シート		
			③ 主体的に学習に取り組む態度 住まいの役割について自身の生活を振り返りながら考えようとしている。 住居の安全性や防災の知識を生かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。	ワークシート		
指導時間数の計		70				